

資料5

2018.10.22

未来投資会議 提出資料

労働政策研究・研修機構 理事長 樋口 美雄

- 本日の議題である「70歳までの就業機会確保」及び「中途採用促進」については、人生100年時代構想会議において本年6月にとりまとめた「人づくり改革基本構想」の中でも、
- ・ 65歳以上への継続雇用年齢の引上げに向けた環境整備
 - ・ 中途採用に積極的な上場企業を集めた協議会を設置し、中途採用を拡大といった方向性が示されてきた重要課題である。

こうした課題について、政労使間の社会的対話を通じ、その具体的な対応のロードマップを固めていくことは急務と考える。

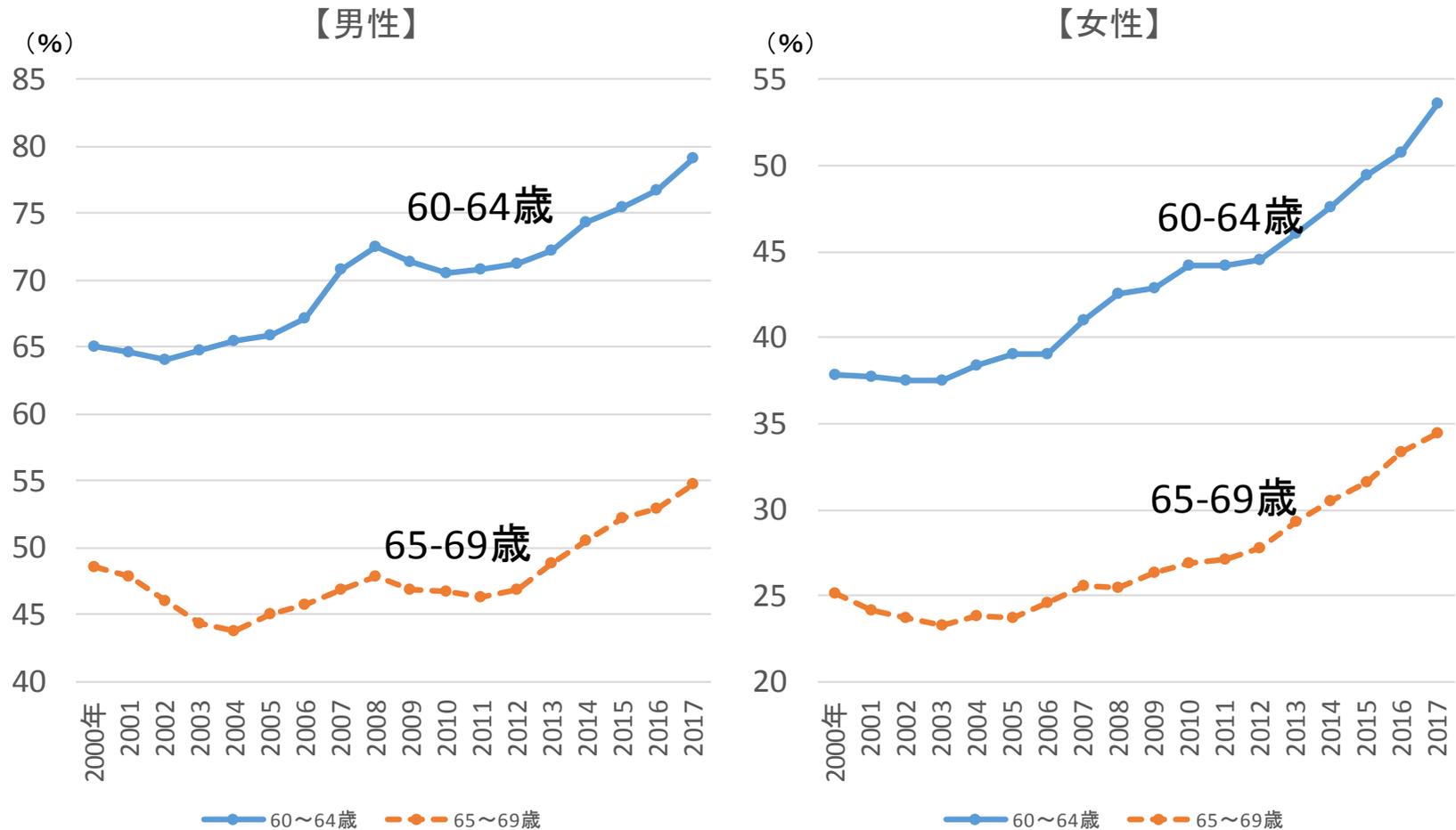
- まず、「70歳までの就業機会確保」については、健康寿命の延伸と高齢者のニーズの多様化にしっかり対応していくことが重要である。

寿命の延伸に伴い、経済的な理由から働くことを希望する高齢者が増加するとともに、例えば短時間勤務や起業のほか、地域でのボランティア的な就労など様々な働き方に対するニーズも高まっている。こうした働く側のニーズの変化に対応する視点を持って、今後の具体的政策を検討していく必要がある。

労使の代表にも、個々の高齢者がしっかりとした生活設計が出来るよう、その希望に応じて働ける制度づくりに向けた議論をお願いしたい。

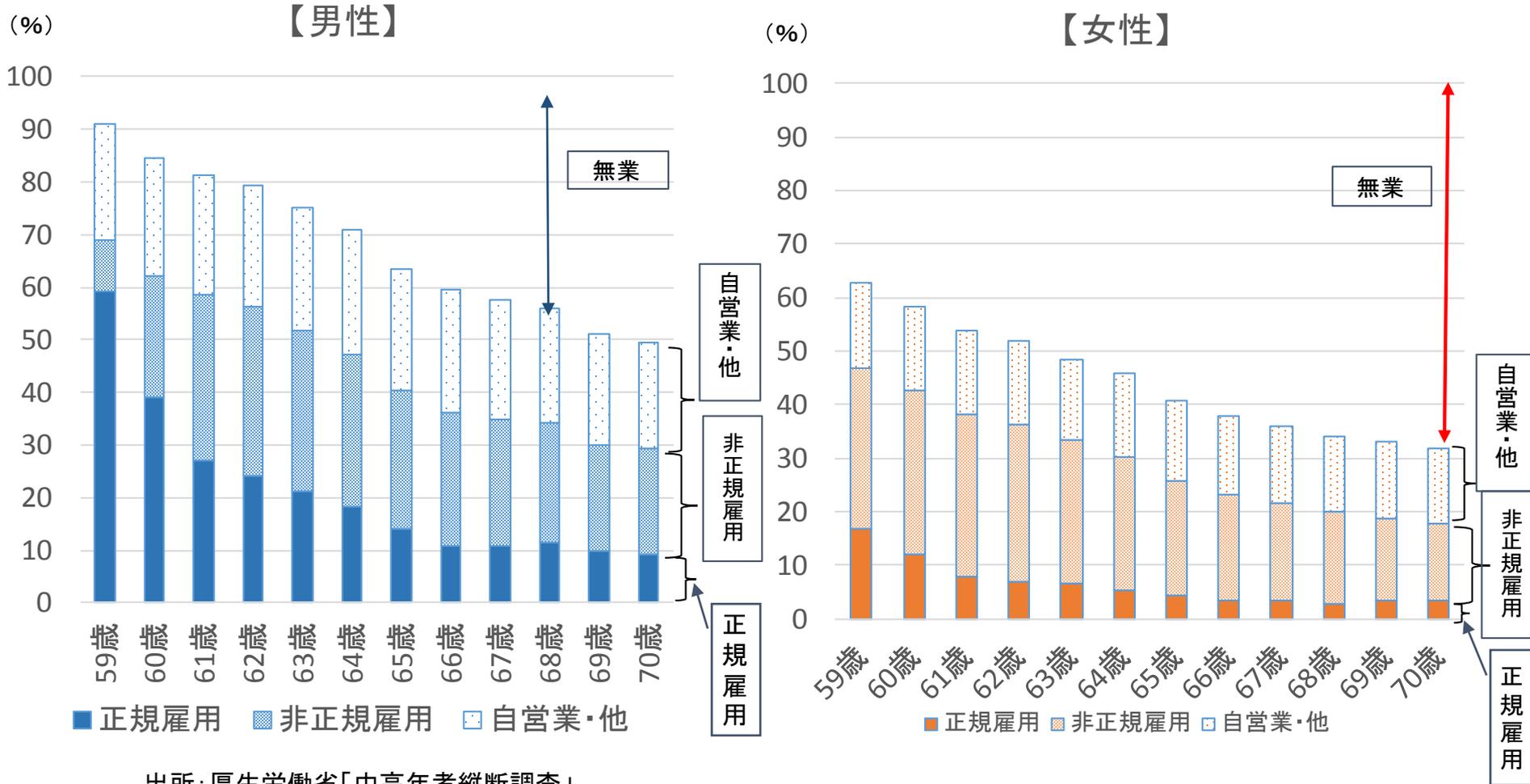
- 中途採用の促進に向けては、機運の醸成や情報交換が重要であり、そうした観点から、中途採用に積極的な上場企業を集めた協議会の設置を急ぎ、就職氷河期世代も含め、転職・再就職者の採用機会を広げる方策を進めていただきたい。

図1 高年齢者の就業率の推移(%)



出所:総務省統計局「労働力調査」

図2 高年齢者の雇用形態別就業率(各歳)



出所: 厚生労働省「中高年齢者縦断調査」

注: 2005年10月末に50~59歳であった全国の男女(2005年~2016年)